

吹田民主商工会 いんぷお めくしよん

吹田市川園町20-1
TEL (06) 633833-2211
FAX (06) 633822-81190
http://www.suita-minsyou.com
suita-ms@jamine.ocn.ne.jp

毎週木曜日の
昼2時・夜7時
なんでも相談会

経営交流会から

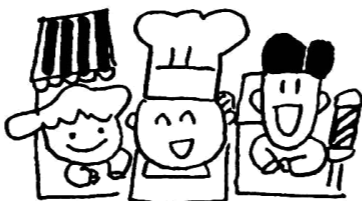
事業展望をつかみ融資獲得

美容室を経営している森田さん(仮名)は自力で日本政策金融公庫に開業資金を申し込みましたが、融資が断られて困っていました。そこで森田さんは吹田民商に相談に求められました。民商では「融資を断られて予定していた設備投資ができず、運転資金も回らない状況で開業に至ったが困っている」と相談を受け、融資申し込みの経過と現状を聞きました。相談の結果、森田さんはもう一度政策金融公庫に融資申込を挑戦しながら、融資がない前提で経営を続けるための計画を立てる二つの対策を同時に進めることにしました。

そこにちょうど片山支部主催で行われる経営交流会がありました。森田さんは、早速その経営交流会から学ぼう、ヒントを掴もうと交流会に参加しました。そこで報告者の片山支部の会員さんも厳しい状況の中、どうやって売上を伸ばしていくか考えた事業計画の報告がありました。そこから事業計画書の作り方、立て方を参考にしました。

森田さんは政策金融公庫に再度融資の申込みを行いました。経営交流会で学んで作り直した今後の事業計画書と開業後に融資の資金がなくても売上が順調に伸びていること説明し、それがわかる収支計算書を示しました。

金融公庫から「どの位の事業資金が必要ですか」と連絡があり、融資が実行されました。森田さんは「融資はもうダメかと思っていたが、実行されて本当に良かった。考えていた事業計画も進めることができ、運転資金も確保できて安心しました。」と喜んでいました。



全支部の支部総会で活発に意見交換

5月19日を皮切りに、中央、片山、北支部が支部総会を開催し5月26日千里丘支部が最後で支部総会が終了しました。今年の特徴は支部役員会で議案書を作成する支部や支部会計報告を討議して、次期支部活動の在り方を予算案から運動方針を立てる支部が増えていることです。支部財政のあり方を会員さんに還元することを基本にどの支部も、民商創立50周年行事に支部で会員に記念品を配布する計画や専任で商工新聞配布・集金されている方への謝礼、会員同士のつながりを深めるためにリクレーションを計画と支部財政の有効利用が予算案に盛り込まれています。支部総会では「アベノミクス」の経済効果が自分たちの商売にも影響が出てきているか、消費税が増税されたらどうなるのか、自民党・維新の会・みんなの党が憲法96条を改正して9条改悪を目論み「国防軍」をつくり戦争する国づくりしようとしていると多岐にわたる情勢も話し合わせ、憲法改悪・消費税増税をストップさせるために参議院選挙を頑張らなアカんと意見も出ました。

来賓に日本共産党市会議員団・日本共産党府会議員曾呂利さん・衆議院7区予定候補石川さんも参加され市政報告・参議院選挙に向けた共産党の政策を訴えられ、参加した会員さんからは市政に対する質問や府政に対する質問で「今年4月から公施設利用料が値上げされた、趣味の同好会などは使えなくなってきた」「公共施設の民間委託で市は防災施設としての機能を考慮しているのか」「寿町は震災で津波が来ると壊滅状態になる。どこに逃げたらいいのか」「大阪府下6市が生活保護ホットラインをつくると新聞に書かれていたが、条例を考えているのか」など出されていました。

各支部で新役員が選出され、支部での運動の方針と本部総会代議員が確認されました。

収支内訳書学習会

先週のいんぷおめくしよんでお知らせ通り、収支内訳書の督促が送付される見込みです。吹田税務署から届いた封筒は開封して、内容をご確認ください。慌てて対応しないようにご注意ください。特に新しい会員の方や、青色申告から白色申告に切り替えた方は、落ち着いて対応してください。収支内訳書の督促には、何も記入しないようにして学習会にまでご持参ください。

学習会では収支内訳書についての解説と、安倍政権がすすめる憲法改悪・経済政策の狙い、国税通則法・消費税増税の問題点、先日成立したマイナンバー制度についてお話しします。

毎年学習会には多くの方が参加し、返還行動は吹田税務署が督促を再開してから10年間、規模を維持してきました。毎年のことになって「慣れた」対応にならないようにしましょう。返還行動は「返す」ことだけが目的ではないことを思い出して対応しましょう。

お買い物は地元市場商店街で・商工業者の繁栄は市民と市民一